

# ア 加点の願い出用紙

〈令和8年度実施〉

09

- 志願要項の4の要件に該当し、評価を願い出る者は、本用紙を必ず提出すること。
- 評価を希望していても、本用紙が提出されていない場合は評価の対象としない。

(※には記入しないこと)

※番号

欄①	
○各分野において、 <u>全ての要件に該当していることを確認して</u> 願い出ること。	
スポーツの分野について（選手としての実績 志願要項4(1)）	
1 小学校、中学校又は高等学校の教員を志願している。	
2 評価を願い出る実績等は、 <b>高等学校卒業後</b> のものである。	
3 評価を願い出る実績等は、 <b>平成28年4月1日以降</b> のものである。	
4 評価を願い出る実績等は、自分自身がレギュラーとして出場し、獲得したものである。	
5 評価を願い出る実績等は、地区等での予選を伴う国際大会又は全国規模の大会におけるものである。	
6 評価を願い出る競技は、国民スポーツ大会（冬季大会を含む。）の正式競技、公開競技及び野球である。	
7 評価を願い出る実績等は、全国教職員大会のような、参加者が大幅に限定された大会のものではない（全日本学生選手権等は可）。	
8 評価を願い出る実績について、公式な大会記録や表彰状、新聞記事、競技団体又は実施団体の成績証明書等の書類がある。	
9 当該証明書類によって、 <b>本人の実績であることが特定</b> できる。	
芸術・文化の分野について（志願要項4(2)）	
1 小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教員を志願している。	
2 評価を願い出る実績等は、 <b>高等学校卒業後</b> のものである。	
3 個人による活動又は団体の正規メンバーとしての活動によって得た実績である。	
4 評価を願い出る実績等は、毎年定期的に行われるコンクール・展覧会等におけるものである。	
5 広範な地域から一般公募する全国規模以上のコンクール等における実績である。	
6 評価を願い出る実績等は、芸術・文化活動の流派等によって、参加者が大幅に限定されたものではない。	
7 評価を願い出る実績について、主催団体による記録や表彰状、新聞記事等の証明する書類がある。	
8 当該証明書類によって、 <b>本人の実績であることが特定</b> できる。	
その他の分野について	
1 出願する「試験区分」が、評価を願い出る実績の対象となるものである。	
2 評価を願い出る実績が、それぞれの要件を満たしている。	
3 活動内容や資格を証明する書類等があり、本人の実績であることが特定できる。	
4 資格や免許状は、前期選考試験においては、令和8年5月29日時点で、後期選考試験においては受験申込受付期間最終日時点で有している（取得の見込みは対象外）。	

欄②		
○欄①の要件に該当し、かつ、昨年度までに実施された本県公立学校教員採用選考試験に願い出た実績については、当該実績を記入した同じ行の「過年度実績」欄に○を記入すること。		
○願い出については、志願要項の記入例を参考にして、全てこの下の欄に記入すること。		
<b>試験区分</b>	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 特支( )- < > <input type="checkbox"/> 養教 <input type="checkbox"/> 栄教	
<b>受験教科</b>		
<b>氏名</b>		
過年度実績	該当コード	評価を願い出る内容
○	102	国民体育大会ボート競技 成年男子（シングルスカル）優勝（R5.9）

(例)

- 注1 この用紙と併せて志願要項4に掲げる要件を満たすことを証明する書類の写しを提出すること。
- 2 証明書類（特に、スポーツの分野における新聞や雑誌等）の写しを提出する際には、該当箇所を蛍光ペン等でマークすること。
  - 3 注1の証明する書類をインターネットからダウンロードした場合は、当該ページのURLを全ての印刷用紙に記載すること。
  - 4 注1の証明する書類に記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、氏名の変更を証明できる書類を併せて提出すること。
  - 5 加点するか否かについては、提出書類を基に審議し、決定する。